

孫が両世帯の“かすがい”になることは間違いありませんね」

西貝氏もご両親との近居暮らしで、祖父母、孫双方のメリットを感じたという。

「子どもが小さいときには、子どもを預かってもらい、助かりましたね。子どもたちが少し大きくなると、勝手に行き来してました。祖父母の家、場所は、他人の家ともまた違った空間。祖父母の友人との交流など、私たちだけでの暮らしでは味わうことができない刺激を受けたと思います。祖父母と一緒に過ごすことで、社会性、協調性も子どもたちは学んだでしょう。祖父母にとっても、孫と過ごすことで積極的になり、長生きする糧になっていると思います。」

家を建てる、リフォームをする際には、専門家の力を有効活用することを西貝氏はすすめる。

「家族だけの話し合いでは、折り合いがつかないこともあります。専門家が入ることで、違った視点、よりよい提案も受けられるでしょう。未来を想像しながら家族で楽しみながら家造りをしていただき、私たちはそのお手伝いできればと思っています」

育G潮流

スマホ、タブレットで、
孫とコミュニケーション

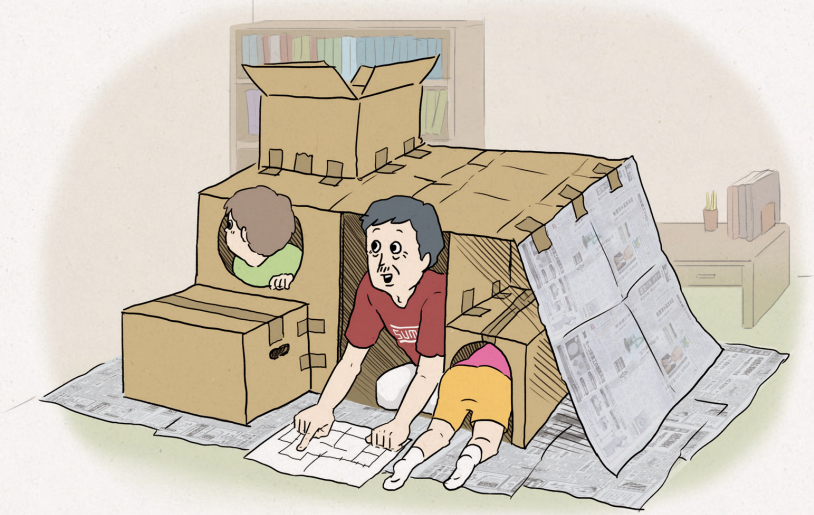
野球、サッカーなどスポーツ観戦に出かけると、じいじと孫というペアに良く出会う。先日、私が球場へ出かけた時のこと。じいじは座席につくと、カバンの中からタブレット端末をとりだし、まずは孫のママに映像付きで到着の報告。その後、先発メンバーが発表されるとその選手のデータページをさっと

育Gスタイル

育Gスタイリスト
G. ハヤシの、孫が来たときに遊ぶコツ～
「Gの部屋を秘密基地に！」

この夏、かわいい孫が遊びにきたときにおすすめしたいのがGの部屋を秘密基地にしてしまう方法。まず、床にスペースをつくっておきます。たとえば、フロアマットなどを広げておくとそこが障地になります。古新聞、段ボール、洗濯バサミなどを使って部屋を仕切ればあっという間に秘密基地に早変わり。小さなおもちゃや文房具を隠して、宝さがしをするのも盛り上がります。

大事なモノ、危ないモノは手の届かないところにしまっておきましょう。いっしょにお片づけまでできるとなお良し、リビングが散らからないのでおばあちゃんも大助かりです。



出し、投手、打者の相性、特徴などを、孫と一緒に分析していく。その姿がカッコイイ！孫がじいじを見る目も輝いている。

60歳以上のシニア層のインターネット閲覧の手段は、シニア層は約3割がパソコン、スマホは約4%、タブレットは約2%にとどまっているが（総務省「平成23年通信利用動向調査」）、ガラケーからスマホに変更したい携帯電話ユーザーは6割を超える（シニア・ナビリサーチ）。

インターネット、パソコン、メールを

仕事で使いこなしたイマドキのじいじたちにとって、スマホ、タブレットは、電話、メール以外に、遊ぶ、調べる、共有するなど、孫とのコミュニケーションツールとなるだろう。ただし、便利な裏に危険が潜んでいること忘れてはならない。育G世代は、アナログ、デジタル両方の世界を知っている世代。メリット、デメリットをしっかりと孫たちに伝えながら孫とのコミュニケーションツールとしてのスマホ、タブレットの使い方を模索して欲しい。

(NPO法人孫育て・ニッポン 理事長 ぼうだあきこ)